

あなたの身近で
大活躍!

防犯カメラの活用法



私たちの日常生活で、ずいぶん身近な存在となった防犯カメラ。
“犯罪を防ぐ”だけでなく、身近なこんな場所でも活躍していますよ!

1 大型店舗での人員配置

広い大型店舗では、「店内で人員の偏りがいないか」「スタッフ対応待ちのお客様がいないか」など、正しい人員配置ができていないかを確認するために防犯カメラを活用。



2 レジスタッフ同士の連携

Aのレジは混雑しているのにBのレジはガラガラ。よくあるこのような状況も、各レジの上部に防犯カメラを設置し、レジ下にはすべてのレジの状況が映し出されるモニターを配置することで、スタッフ全員が店内レジの状況を瞬時に把握し、自発的に動いて助け合えるようになりました。



3 工場内の業務効率改善

業務効率の改善に向け、防犯カメラの映像を通してスタッフ一人一人が得意な業務のスキルを確認し、効率の上がる人員配置を決定するという使い方も。



4 遠隔での在庫管理

倉庫内に高画質かつ高性能な防犯カメラを設置することで、品番や点数などを映像から正確に読み取れるように。複数の場所に在庫がある場合は大きな業務効率改善に繋がります。



5 クリニック内の待合室と診察室をつなぐ

待合室や受付の防犯カメラ映像を診察室からも確認できるようにすることで、スタッフ同士の連携もスムーズに。



6 老人ホームでの入居者対応

各個室や廊下に防犯カメラを増やし、手元でいつでも確認できるようにしたところ、無断で外出しようとしている入居者を発見できたり、深夜徘徊をしている入居者の居場所がすぐに特定できたりと、大きなトラブルを回避できるように。



7 飲食店で従業員の問題行動を防止

従業員によるいたずらや悪ふざけで炎上、最近よく耳にします。小規模な飲食店では閉店後に一人で作業を行っているケースも多く、トラブルが発生しても証拠が残りにくいという問題点が。厨房や店舗全体を監視して従業員の行動を記録しておくことで、目の届かない場所でも従業員の行動を把握可能に。



防犯カメラの“ちょっと意外”な使い方

防犯・監視目的以外に「見守りカメラ」としても活用が広がる防犯カメラ。
お子様や高齢者だけではない、様々な（ちょっと変わった？）活用事例をご紹介します！

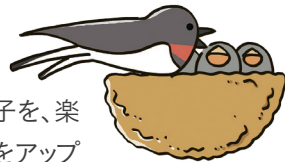
“自分”を見守り（記録）

某人気芸人の方が、自宅の部屋にペットカメラを設置。ペットは飼っていないのに、その目的は…？
理由は、「自分の様子を確認する」ため。酔い潰れるほどお酒を飲んだわけでもないのに、帰宅してソファで寝落ちしてしまうことがあまりに多いため、自分自身の様子を振り返って確認するために導入されたそうです。「俯瞰で自分を見つめ直し日々反省、そして向上を目指しております」と、改めて今後の飛躍を誓われたとか。
自己改善に活かされるとは、考えつかなかったです。見習いたいと思います。



軒下の“ツバメ”の親子を見守り

先日、弊社の見守りカメラをご利用の方から、「自宅玄関の軒下にツバメが巣を作っていて、その様子を映して観察しています」とご報告が！限られた期間の貴重な成長の様子を、楽しみにご覧になられているのでしょうか。息抜きにご覧になれることでモチベーションをアップしたり、万が一、悪天候時などでも実際の様子を見られることが安心に繋がりますよね。



“買い出しメモ”の確認

弊社某従業員宅では、冷蔵庫が映るように見守りカメラを設置していると。冷蔵庫に買い出しメモを貼って書き込んでいくスタイルだそうで、出掛けた時に「買い出しメモ、持って来るのを忘れた！！」となっても、スマホから見守りカメラを通して冷蔵庫の買い出しメモを確認できるので、問題なし！事前に他のスマートフォンと共有設定を行っておくと、家族の誰でも外出先から確認できます。「あー…これ、買い出した…」と、ちょっとのことでも続いてしまうと、結構ストレスですね。リカバリー大事です。



番外編 『犬の鳴き声』で畑荒らしを撃退！？

弊社の見守りカメラ「みてるちゃん」では、動体検知時のアラーム音として犬や猫の鳴き声もしくは録音したメッセージの再生が可能です。この『犬の鳴き声』アラームを活用して、畑を荒らしに来る野生の小動物を威嚇・撃退できないかと…。効果のほどはわかりませんが、とにかく、やってみようと思います！

